

つなぐ



＜設立状況(R4.4.1) 全41地区中＞
 まちづくり協議会 29(31 地区)
 まちづくり協議会準備会 0(0 地区)

Vol. 42

発行：松山市役所 まちづくり推進課 TEL: (089) 948-6963 FAX: (089) 934-1821

H P : <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/chiikicomunity/tikudayori.html>

Facebook : <https://www.facebook.com/machijoho>

Facebook まちづくり協議会情報局



余土地区 まちづくり協議会

余土地区まちづくり協議会は、この春で14度目の春を迎えます。余土まち協が、令和3年度に工夫をしながら行った主な活動を紹介します。

1つ目は、「子ども達に安心・安全な第3の居場所」をつくる活動です。夏休みや冬休みに東雲大学や北条高校の学生さんに協力してもらい「サードプレース余土」を実施しました。また、「余土子ども夏フェス」では映画鑑賞会やお楽しみ抽選会、トーンチャイムと篠笛の演奏会など年齢に合わせて楽しんでもらえる催しを考えました。また、毎月第3土曜には「おはなし会」も開催しています。

2つ目は「余土を知ればもっと余土が好きになる」を合言葉に行った活動です。「第4回余土検定」の実施や、ありし日の余土の風景写真を募集し、「余土の風景3」として絵ががきを作成しました。完成した絵はがきは販売し、家族や知人への近況報告に使っていただいています。

令和4年度は、第2次まちづくり計画も作成します。「みんなで創る明るい住み良い余土のまち」を目標に活動していきます。興味のある方は、ホームページをご覧ください。



松山市地域の宝みがきサポート事業補助金を ぜひご利用ください！！

補助について

- 30万円まで補助（10／10）
- 1公民館区域につき、3回まで利用可能。
（1年度につき、1回限り）

地域の宝である地域資源を活かした、
住民主体の個性的な地域づくりを応援します。
対象事業費の一部に補助しています。

申請者

- 公民館事業推進委員会
- 認定まちづくり協議会

対象事業

- 解説板、案内標識の設置
- アクセス向上、滞留時間の
延長のための整備 など

問合せ先

松山市役所
まちづくり推進課
坂の上の雲まちづくり担当

電話：089-948-6996
FAX：089-934-1821
メール：sakanoue@city.matsuyama.ehime.jp

令和3年度の活動事例

清水地区

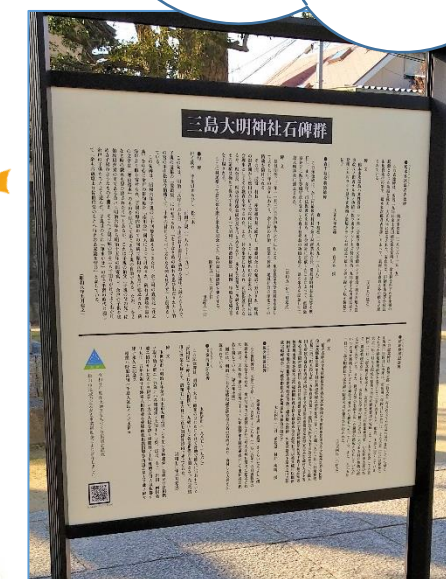
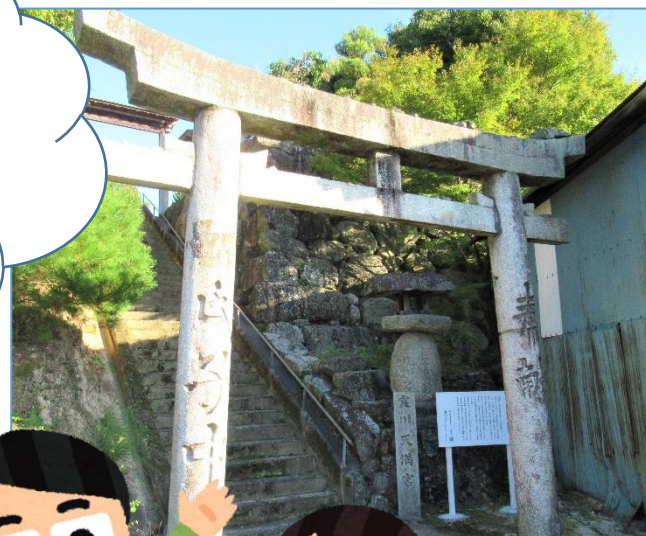
- 地区の文化財や歴史的建造物を紹介した案内看板を作成。

伊台地区

- 道路改修記念碑の解説や地域の歴史を紹介する看板を4カ所に設置。

余土地区

- 余土村時代の先人の功績を記念した、石碑の案内看板を設置。



「第2次地域におけるまちづくり基本計画」の 中間検証の結果と今後の目標を掲載しました！



第2次地域におけるまちづくり計画には、目標を達成するための19施策を掲げています。その施策ごとに、実績や評価・課題、目標を検証し、わかりやすくまとめました。

松山市のホームページ内に、計画や中間検証の結果と目標を掲載していますので、ぜひご覧ください。

検証の結果と目標は、松山市のホームページ内に掲載しています。



「地域におけるまちづくり基本構想」を実現するための具体的な取り組みを記したものです。

令和3年度が計画期間の中間にあたるため、委員会を設置し、委員の皆さんにご意見をいただきながら現状や課題、今後の目標を検討しました。

「地域におけるまちづくり計画とは」

平成29年度～令和8年度を期間とした10年計画です。



【今後の目標や抱負を教えてください。】
地域の情報を皆さんに伝えるために、新鮮な情報の定期的な発信を信念に、今後も事業を推進していきます。

【色々な事業の中で特にこだわりのある事業は？】
余土を好きになってもらうには、地域のみなさんに余土を知ってもらうことが必要だとの思いから、これまで随時発行していた「まちづくり通信」を毎月発行にしました。まちづくり協議会の情報だけでなく、地域の各種団体の情報も掲載することにこだわっています。
当初はなかなか原稿が集まらず苦労しましたが、根気よく毎月定期的に発行を続けていると、地域の各種団体からまちづくり通信に掲載してほしいという依頼がくるようになり、紙面が充実してきました。

【どのような活動に取り組まれていますか？】
広報広聴委員会では「余土地区まちづくり通信」の発行や「余土の風景」絵はがきの発行、余土に関する一〇〇問に挑戦する「余土検定」、余土地域の解説書の「余土ぶらっと見て歩き」の発行、地区にある石碑の「案内板」設置などに取り組んでいます。

【余土地区はどのようなところですか？】
松山市の南西部に位置し、古く律令時代の仕組みを伝える地名で歴史ある市坪村、保免村、余戸村が明治二二年に合併して余土村となりました。その後、松山市に編入され現在に至っています。余土村発足当時二、三六〇人だった人口は、令和三年四月現在、二、三、四一八人と増加し、急速な都市化が進んでいる地区です。

第39回 まちづくりで 輝く人 地域で活躍している人をご紹介します

余土地区まちづくり協議会
広報広聴委員会委員長

といた やすし
戸井田 楽さん



趣味
テニス、マラソン、
登山。体を動かす
ことが好きです！

今回の表紙を飾った、余土まち協の活動に尽力された、戸井田 楽さんを紹介します。